

管路協 NEWS

宮崎県部会

能登半島災害支援活動のため、管路協九州支部宮崎県部会は、2月3日（土）に石川県に向けて出発しました。
 支援班は、被災を受けた方々が一刻も早く普段の生活に戻れるよう活動いたします。

宮崎日日新聞 R6.2.4 掲載

「被災した歳は復旧まで
 の流れを説明。初期段階は
 「被災の記録を取る」「在庫
 確認」などを行ったと紹介
 し、復旧段階での行政との
 やりとりや、補助金につい
 ても写真添えて記した。
 再建を強いるつもりはな
 いが、能登の伝統ある酒造
 りが絶えないでほしいとも
 願う。自分の経験や知識を
 役立ててほしいと語った。

石川の下水道
 被害調査支援
 管理業協会県部会派遣

能登半島地震の被災地で
 下水道の被害調査を支援す
 るため、日本下水道管理業
 協会九州支部宮崎県部
 会（久保田真樹部会長、9
 社）は3日、加盟業者12人
 と洗浄車や吸引車などの資
 機材を石川県へ派遣した。
 現地では17日まで活動す
 る。宮崎市の宮崎港フェリー
 ターミナルで出発式があり
 「調査は国の査定に使わ

読売新聞 R6.2.4 掲載

能登地震 下水道管路調査へ出発
 日本下水道管理業協会九州支部宮崎部会は3日、能登半島地震の被災地に派遣する支援班12人の出発式を宮崎市で行った。各事業者が所有する高圧洗浄車、強力吸引車、給水車、TVカメラ車などで石川県能登町、輪島市などに向け、被災した下水道管路を洗浄

「被災した歳は復旧まで
 の流れを説明。初期段階は
 「被災の記録を取る」「在庫
 確認」などを行ったと紹介
 し、復旧段階での行政との
 やりとりや、補助金につい
 ても写真添えて記した。
 再建を強いるつもりはな
 いが、能登の伝統ある酒造
 りが絶えないでほしいとも
 願う。自分の経験や知識を
 役立ててほしいと語った。

石川の下水道
 被害調査支援
 管理業協会県部会派遣

能登半島地震の被災地で
 下水道の被害調査を支援す
 るため、日本下水道管理業
 協会九州支部宮崎県部
 会（久保田真樹部会長、9
 社）は3日、加盟業者12人
 と洗浄車や吸引車などの資
 機材を石川県へ派遣した。
 現地では17日まで活動す
 る。宮崎市の宮崎港フェリー
 ターミナルで出発式があり
 「調査は国の査定に使わ



復旧に不可欠なもの。
 安全に気をつけながら作業
 に当たってほしい」と激
 励。班長を務める中野管理
 （宮崎市佐原町）の谷口
 一志さん（54）は「被災地の
 方の生活が少しでも元の姿
 に近づけるよう頑張りたい
 い」と意欲を述べた。
 県士交通省の要請に基づ

会長からの挨拶



出発です



インタビュー